



## お客様のビジネスを支援する富士通の製品とサービスを 最近発表したプレスリリースの中からご紹介します

プレスリリース一覧 <http://pr.fujitsu.com/jp/>

### プライベートクラウド

サーバやストレージをお客様専用構築

## 「プライベートクラウドサービス」を 販売開始

富士通は、サーバやストレージを仮想化・自動化し、お客様専用構築するプライベートクラウドを、サービスとしてワンストップでご提供する「プライベートクラウドサービス」の販売を、11月22日より開始しました。

本サービスは、お客様のプライベートクラウド導入

<http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/private-cloud/>

の企画・設計から、構築、運用・保守、撤去・廃棄までのライフサイクル全体を受託するアウトソーシングサービスです。プライベートクラウドのインフラ環境に対する各種の設計・構築・運用・保守サービスを、新たにオンデマンドで利用することを可能にし、初期コストの月額料金への平準化、運用コストの可視化・最適化を実現します。

これにより、お客様はプライベートクラウドの様々な運用管理作業から解放され、業務アプリケーション開発や、ICT戦略策定等への注力が可能になります。

[発表：2010年11月22日]

### SPARC Enterprise Mシリーズ

富士通とオラクルによる新しい製品ラインナップ

## 新プロセッサを搭載した スパーク・エンタープライズ 「SPARC Enterprise Mシリーズ」を販売開始

富士通とオラクル・コーポレーションは、新しい「SPARC64 VII+」プロセッサを搭載し性能を強化した「SPARC Enterprise Mシリーズ」の販売を、12月2日より順次開始しました。

本製品は、富士通とオラクルによる新しい「SPARC Enterprise」の製品ラインナップです。

<http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/>

また、あわせて、富士通、オラクルの両社のロゴを配した共通デザインの筐体を、両社で提供していきます。

両社の20年以上にわたるミッションクリティカルコンピューティングの分野におけるパートナーシップにより、共同で開発・製造を行った「SPARC Enterprise Mシリーズ」は、さらなる高性能、運用性の向上、お客様の投資保護を実現するものです。両社は今後もSPARCアーキテクチャーへの投資を継続していきます。

[発表：2010年12月2日]

### PRIMERGY BX400

中小規模サーバ集約に最適

## 中小規模システム向けブレードサーバ ブレイマジン 「PRIMERGY BX400」新発売

富士通は、PCサーバ「PRIMERGY」に、中小規模システムに最適な新しいブレードサーバ「PRIMERGY BX400」をラインナップに加え、11月24日より販売を開始しました。

「PRIMERGY BX400」は、高さ6U (266.7mm) に富士通の大規模システム向けブレードサーバ「PRIMERGY

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

BX900」と同一のブレードを最大8台搭載できるブレードサーバシャーシです。フロアスタンドキットの採用により、サーバラックがなくても設置可能で、冷却ファンの最適化等により省エネルギー、静音性を実現しています。

同性能のラック型サーバやタワー型サーバと比べて、省スペース、軽量、省エネルギー、静音性の向上を実現しています。そのため、中堅中小企業の基幹サーバや部門等の中小規模システムのサーバ集約に最適です。

[発表：2010年11月24日]

診療所業務を効率化

## 無床診療所向けに医療事務一体型 電子カルテシステムを販売開始

富士通は、無床診療所向けに、医療事務一体型電子カルテシステム「HOPE/EGMAIN-RX（ホープ イージーメイン アールエックス）」の販売を、11月2日より開始しました。

本製品は、受付から診療、会計、レセプト（診療報酬明細書）作成まで、無床診療所（入院施設を持たない診療所）の業務に必要な医療事務機能と電子カルテ機能を一体化したシステムです。診療情報やレセプトを電子化することで、医師と事務スタッフ間での迅速なデータ共有を可能にし、診療所業務を効率化します。

また、地域医療ネットワークシステムと連携させることで、地域において、大病院から無床診療所まで一貫して質の高い医療を実現する体制整備を支援します。 [発表：2010年11月2日]

<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/>

業界最高水準となる約14Wの低消費電力

## 企業向けパソコン「<sup>ESPRIMO</sup>ESPRIMO」 <sup>LIFEBOOK</sup>LIFEBOOK」のラインナップを一新

富士通は、企業向けデスクトップPC「ESPRIMO」、ノートPC「LIFEBOOK」のラインナップを一新し、全7シリーズ31機種の販売を、10月12日より国内にて開始しました。

新ラインナップでは、省電力性を追求し、業界最高水準となる約14Wの低消費電力と長寿命部品採用により、24時間運用を実現した「ESPRIMO」の省エネモデルをご提供する他、CPU等の基本性能を強化しています。

また、全シリーズで国際エネルギースタープログラム<sup>\*</sup>に対応し、地球環境への配慮を重視した多彩なラインナップで、お客様の環境負荷低減に貢献します。

[発表：2010年10月12日]

※世界7カ国・地域で実施されているオフィス機器の国際的な省エネルギー制度。

<http://www.fmworld.net/biz/>

ビジネスの生産性向上を実現

## 「統合コミュニケーションサービス」 を販売開始

富士通は、IP電話、モバイル端末、テレビ会議、Web会議、ボイスメール等を統合し、効率的で円滑なコミュニケーションを実現するユニファイド コミュニケーションシステム環境を、富士通のデータセンターからネットワーク経由でご提供する「統合コミュニケーションサービス」の販売を、10月13日より開始しました。

本サービスは、電話機能、モバイル機能に加え、業務やグループウェアと連携する機能を月額で利用するもので、ユニファイド コミュニケーションを導入するお客様システムのコスト軽減や構築期間の短縮を実現します。システムの運用についても富士通がデータセンターで行うため、お客様の負担を大幅に軽減することが可能です。 [発表：2010年10月13日]

<http://fenics.fujitsu.com/networkservice/uc-service/>

お客様の作業負荷軽減とCO<sub>2</sub>排出量削減

## ソフトウェアライセンスの 電子納品を開始

富士通は、ソフトウェア製品のライセンス証書の電子納品を開始し、順次、紙での出荷を廃止していきます。お客様は、ライセンス購入実績を専用Webサイトにて照会することができます。

これにより、お客様は保管スペース、納品物の開梱作業、梱包物の廃棄作業が不要になる他、納品物の確認作業が効率化されます。また、紙のライセンス証書を紛失することがなくなり、いつでもWebサイトでライセンスの保有数を正確に把握し、資産管理の精度を向上させることができます。

ライセンスの電子化により、紙や梱包物がなくなり、運搬作業が不要になること等から、今後5年間で183tのCO<sub>2</sub>排出の削減（削減率64%）を見込んでいます。 [発表：2010年10月12日]

<https://soft-license-services.jp.fujitsu.com/>